

令和5年度厚生労働省 老人保健健康増進等事業

「介護 DB の解析・利活用を実践しうる人材を育成するためのプログラム作成等に関する調査研究事業」

介護 DB 活用ネットワーク人材育成セミナー

参加者アンケート結果

令和6年3月

つくば医療介護サービス研究機構株式会社

開催概要

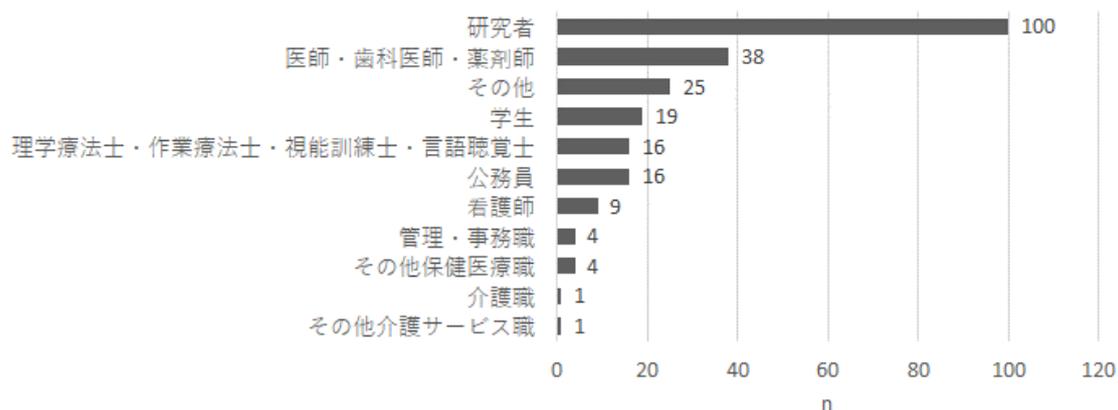
- 名称：第2回介護DB活用ネットワーク人材育成セミナー（介護DBユーザー会）
- 日時：令和6年2月20日（火）13:30～17:30 *終了後にオンデマンド配信
- 開催方法：オンライン（zoom）
- 参加料金：無料
- 対象：介護DBを初めて利用する方、利用を考えている方
- 主催：つくば医療介護サービス研究機構
- 趣旨：介護DBの利用者を増やす、利用者間のネットワークの形成

参加登録者数、当日参加者数、オンデマンド参加者数、アンケート回答者数

- 参加登録者数：233名
- 当日参加者数：145名
- オンデマンド参加者数：110名
- アンケート回答者数：58名

登録者の職種（n=233）

職種別参加登録者数（n=233）

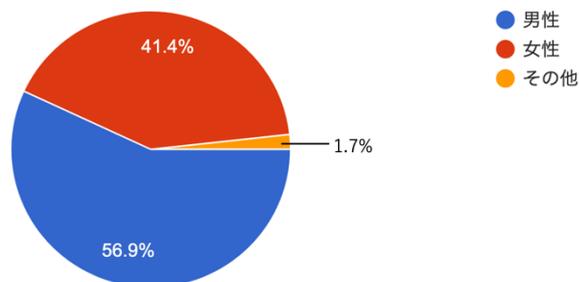


当日視聴者の参加後アンケート内容と結果 (n = 58)

問1 性別を教えてください

問1. 性別を教えてください。

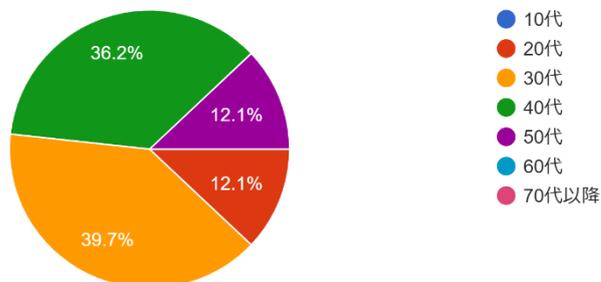
58 件の回答



問2 年齢を教えてください

問2. 年齢を教えてください

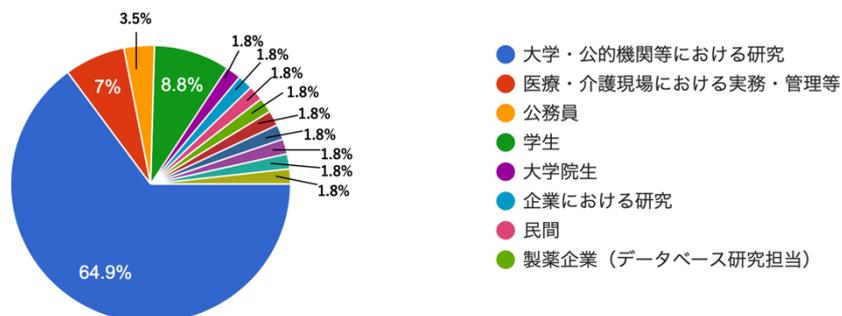
58 件の回答



問3 主に従事されている仕事を教えてください (一つ選択)。

問3. 主に従事されている仕事を教えてください (一つ選択)。

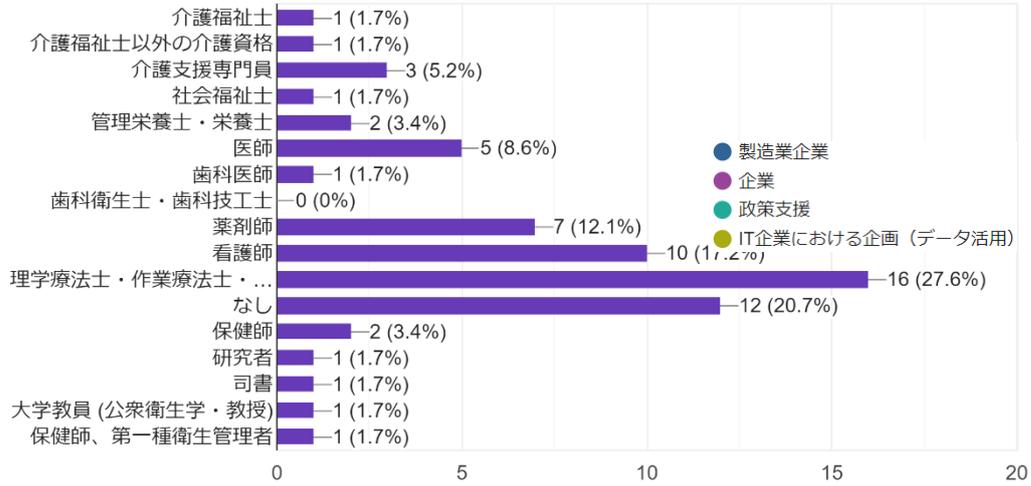
57 件の回答



問4 お持ちの資格があれば教えてください（複数選択可）。

問4. お持ちの資格があれば教えてください（複数選択可）。

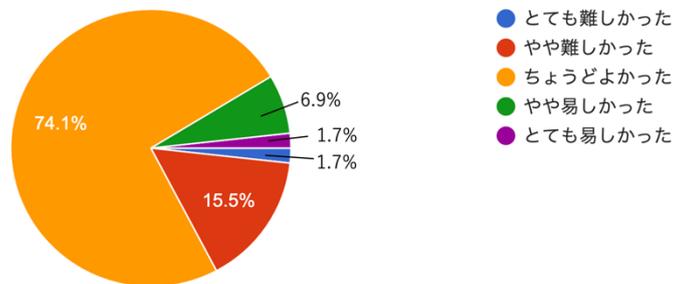
58件の回答



問5 本セミナーの難易度を教えてください

問5. 本セミナーの難易度を教えてください。

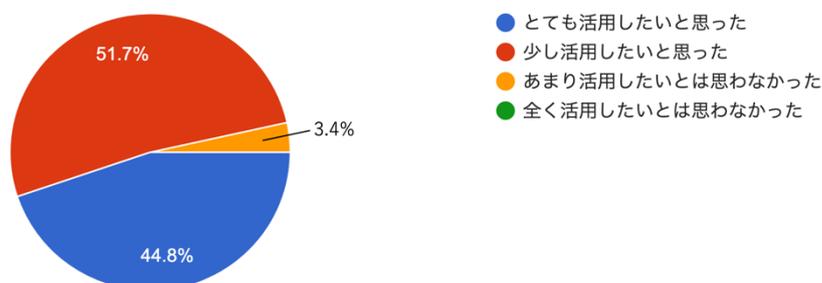
58件の回答



問6 セミナーを受けて、介護DBをご自身の研究や業務に活用したくなりましたか？

問6. セミナーを受けて、介護DBをご自身の研究や業務に活用したくなりましたか？

58件の回答



問7. 問5の理由がありましたら、教えてください（自由回答）

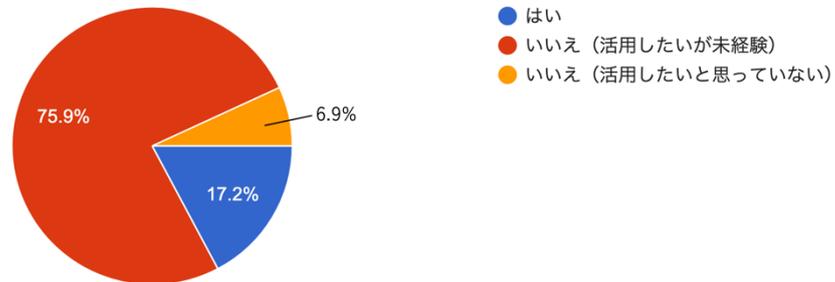
14件の回答

1. 研究に利用できると思ったため。
2. 権利擁護にかかる研究をしているが、権利擁護に関わる指標（意思疎通や認知症）などもあったので、それらを何か活用できないかと考えたため。
3. 手間がかかる
4. NDBを研究利用する予定があり、介護DBにも関心が少しあったため
5. 今後のセミナーでは、具体的なデータハンドリングの過程をご紹介いただけると嬉しいです。
6. 活用までには明確な目的と目標が必要だと感じたため
7. 統計のようなデータ解析の仕組み基礎知識がなかったため
8. 限られた時間だったので仕方ないのですが、自分の中で咀嚼して理解する時間が足りませんでした。
9. 介護・医療情報は自治体に既にあるため、大卒の理解があるため
10. 先生方の発表を聴いて、EBPMに有用なデータであることがよくわかりました。
11. 現場や、ある程度のデータ構造や仕組みを知っているので馴染みやすかった
12. 現状は設備、セキュリティといった物理的なハードルが高いが、クラウド化などにより本学の体制で実施可能となれば検討したい。
13. 介護DBを活用した研究がどのようなものがあるか知れたから
14. LIFEも増え、多数変数があるため

問 8. 実際に介護 DB を活用したことはありますか？

問8. 実際に介護DBを活用したことはありますか？

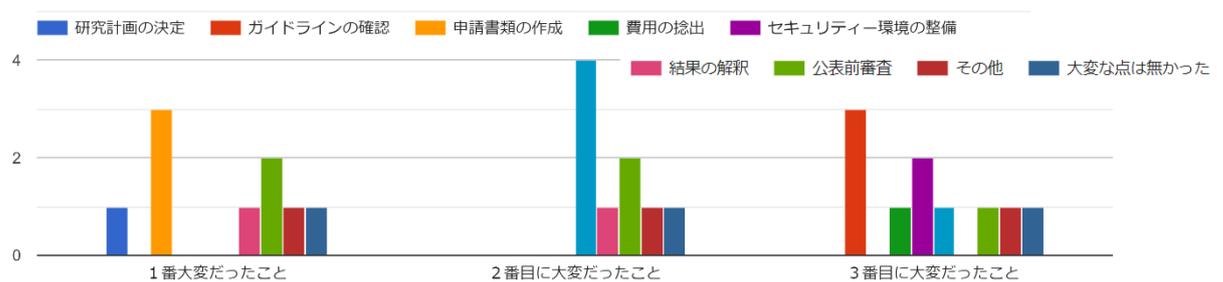
58 件の回答



問 8 で「はい」を選択した方に質問です。

問 9-1. 利活用にあたって大変な点はどこでしたか？ (上位 3 つを選択してください)

問9-1. 利活用にあたって大変な点はどこでしたか？ (上位 3 つを選択してください)



問 9-1 で「その他」を選択した方に質問です。

問 9-2. 具体的にどのような点が大変でしたか？ (自由回答)

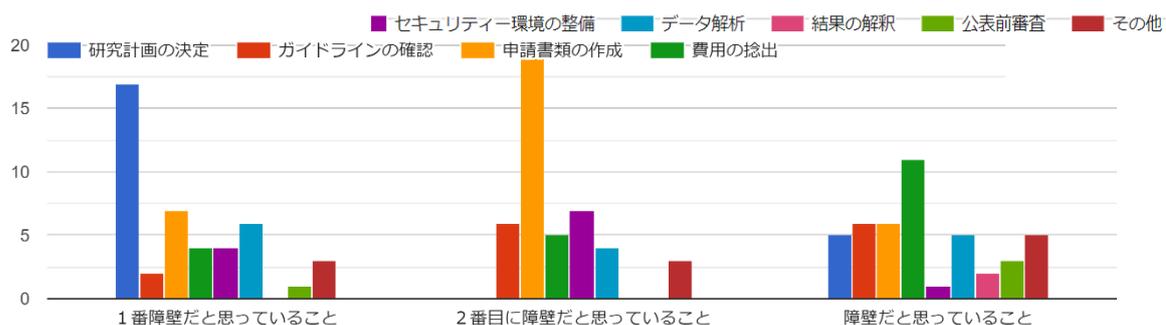
1 件の回答

1. 公表確認済みの情報を、少し文言を変えるだけで、再確認を求められる点

問 8 で「いいえ (活用したいが未経験)」を選択した方に質問です。

問 10-1. どのようなことが障壁となり、活用に至っていないですか？ (上位 3 つを選択してください)

問10-1. どのようなことが障壁となり、活用に至っていないですか？ (上位 3 つを選択してください)



問 10-1 で「その他」を選択した方に質問です。

問 10-2. 具体的にどのような点が障壁となっていますか？ (自由回答)

8 件の回答

1. 時間
2. データをどのように用い、どのような分析を行えばよいのかについて、学ぶ必要があるため。
3. 要介護認定情報や介護レセプトでどのような研究が可能なのかを模索している段階のため、研究計画を立てるのが最も大変だと感じている。
4. 解析できるまでのデータハンドリングが心配です。
5. データ解析の知識不足
6. 自治体のため、申請をするまで必要ないため
7. 研究体制の確保
8. セキュリティ、設備構築は小規模施設では困難

問 8 で「いいえ (活用したいと思っていない)」を選択した方に質問です。

問 11-1. 活用したいと思っていない理由は何ですか？

2 件の回答

1. 介護 DB を用いることが適当な疾患を担当していないため
2. 現時点では活用予定がないため

問 12. 介護 DB がより広く利活用されるための要望があれば記載をお願いいたします

(自由回答)

15 件の回答

1. 申請～承認～データ納品までの時間の短縮
2. データ入手までの期間の短縮
3. よく整備していただいていると思います。
4. NDB と完全に運用を併せて欲しいです。
5. 企業も利活用しやすい環境を整備いただけると幸いです。
6. 介護の実態を表すメッセージが出ると身近に感じるかもしれません。
7. 申請から提供までの時間が短縮されると良いと思いました。
8. 文部科研で実施できるようなスケジュールでお願いしたいです。(申請から結果のまとめまでに 3 年)
9. 公開データを増加、実際のデータの項目や詳細を開示
10. 容易に活用できるシステム開発 (全国一律に利用できるもの)
11. 私の背景が薬剤師だから、ということもありますが、やはり NBD と連携していただくと、治療投薬内容がわかり、予防や治療の段階からどうすれば介護負担が減るのかなどが分かるように思います。お忙しいことと存じますが、是非連携を急いでいただければと思います。
12. 研究成果の公表が重要であると思います。成果の公表にあたって、事前審査の短縮をお願いいたします (1 か月以上返信がないことがあり、論文投稿、特に査読後の再投稿の期限にまにあわない等、論文投稿に時間を有します)。
13. 介護保険領域のサービスの使用は、目的が標準的なものから応用的なものまで多岐にわたるので、サービスや調査票の情報だけでは、サービス利用目的の差がバイアスとなりやすいと思う。なので、居宅介護支援計画書の 2 票や週間サービス計画が取得できるように、居宅介護支援事業所に仕掛けを用意してほしい。また、可能であれば、各サービスの支援計画書も同様に取得するべきであると思う。インフォーマル含め、どのような計画が健康に資するかについて、研究したいと考えている。
14. 申請をもっと簡略化してほしい
15. 簡潔な申請プロセス

問 13. 介護 DB に関して、今後どのような内容のセミナーがあると利活用が促進されると思いますか？（自由回答）

13 件の回答

1. どういう研究が可能かわかる事例について
2. 年々扱えるデータなど状況が変わるので定期的に開催して頂けるといいなと思いました。
3. 医学系ではなく、社会科学系（社会福祉学など）の方がどのようにデータを利用しているのかを知りたい。
4. 内容というよりアーカイブで観れるようにして頂けるとありがたいです。
5. 介護 DB を用いた研究実績
6. 介護 DB でどのような研究が可能なのか、どのような研究だと不可能なのか、より詳しく取り扱ってほしいです。
7. データハンドリングについてのプラクティカルな講義、実習
8. 実際の研究の手順、一つの事例を提示しどういう解析ソフトを使用しどのように結果を導き出せばよいか
9. 今回の松田先生のような自治体データの活用と施策への活かし方
10. 具体的なデータハンドリングに関する内容
11. クローズドでデモデータで良いので、データ解析セミナーがあれば、活用のイメージやリサーチクエスチョンが生み出されやすいと思う。
12. SQL
13. 素人でもわかる研究テーマの選定やデータ解析の手法。福祉現場が欲するデータをどのようにして分析すればよいか具体例を教えてください。

問 14. その他、お気づきの点や要望等がありましたら教えてください（自由回答）

7 件の回答

1. 大変勉強になりました。ありがとうございました。
2. いつも有用なセミナーを開催していただき、ありがとうございます。
3. 事業評価を多く求められることがあり、保健事業は保健師が多く関わっていますので、自治体の保健師向けにお願いします。
4. 昨年に引き続き、今年度も学びの場を提供して下さい、田宮先生はじめお教室の皆様へ感謝申し上げます。筑波大卒業生としても、是非今後介護 DB を活用し、行政から

現場の先生方、勿論介護を受ける方にとっても有用なデータを出せる機会があればと思っています。

5. 今後ともどうぞよろしくお願い致します。
6. 勉強になりました事感謝申し上げます。
7. もっと、介護現場の人が研究や客観的データに興味関心を持つことも必要だと思った。今後の人材育成として、現場の介護力+分析力を育てて、介護度の高い人たちの人数の抑制または減少につなげられるような介護プログラムを検討していく必要があると感じた。
8. 福祉を学ぶ学生にも介護 DB でこんな研究ができるなどの周知も必要と考える。

令和5年度厚生労働省 老人保健健康増進等事業

介護DBの解析・利活用を実践しうる人材を育成するためのプログラム作成等に関する調査研究事業

「介護DB活用ネットワーク人材育成セミナー 参加者アンケート結果」

令和6年3月